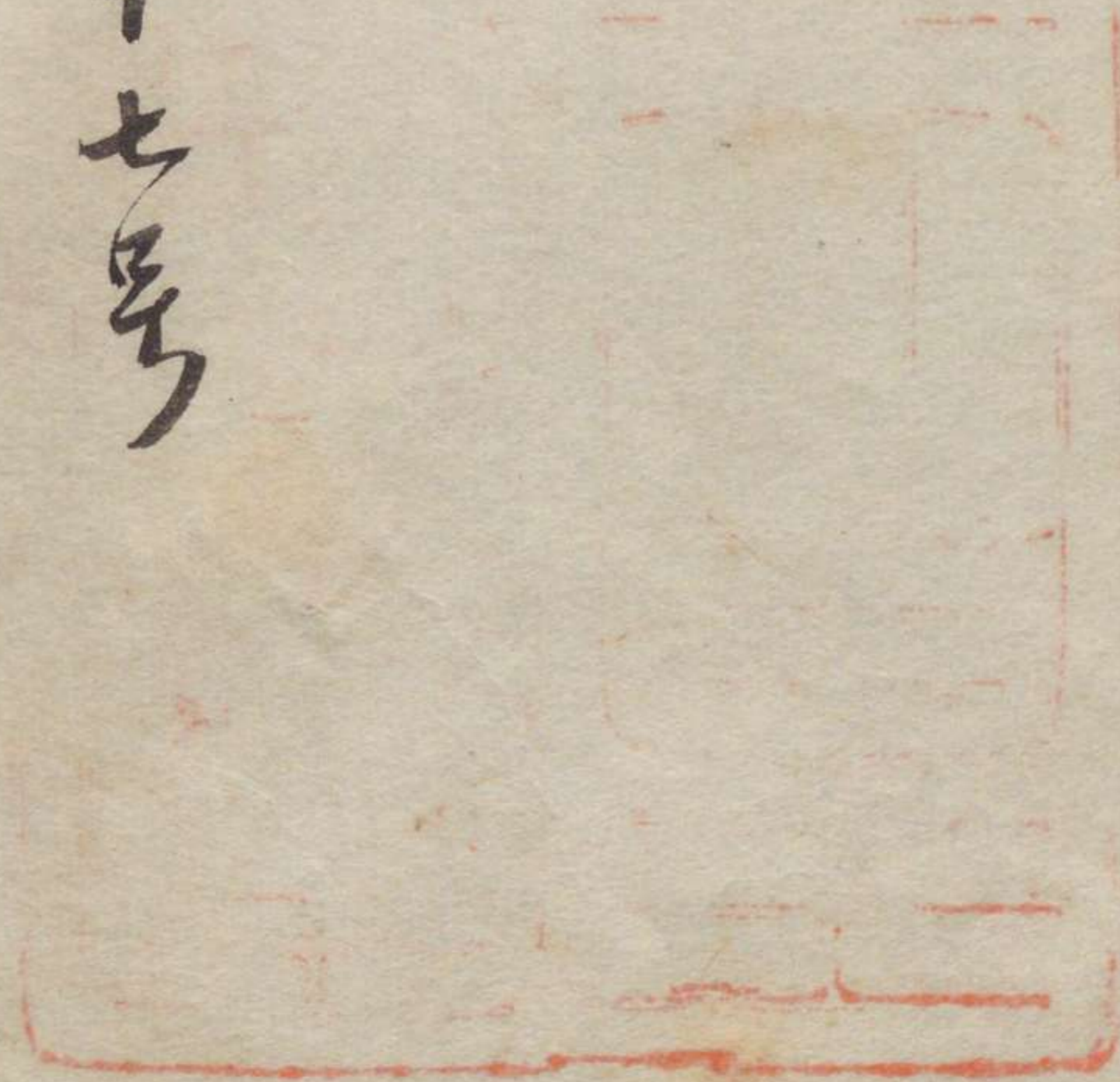


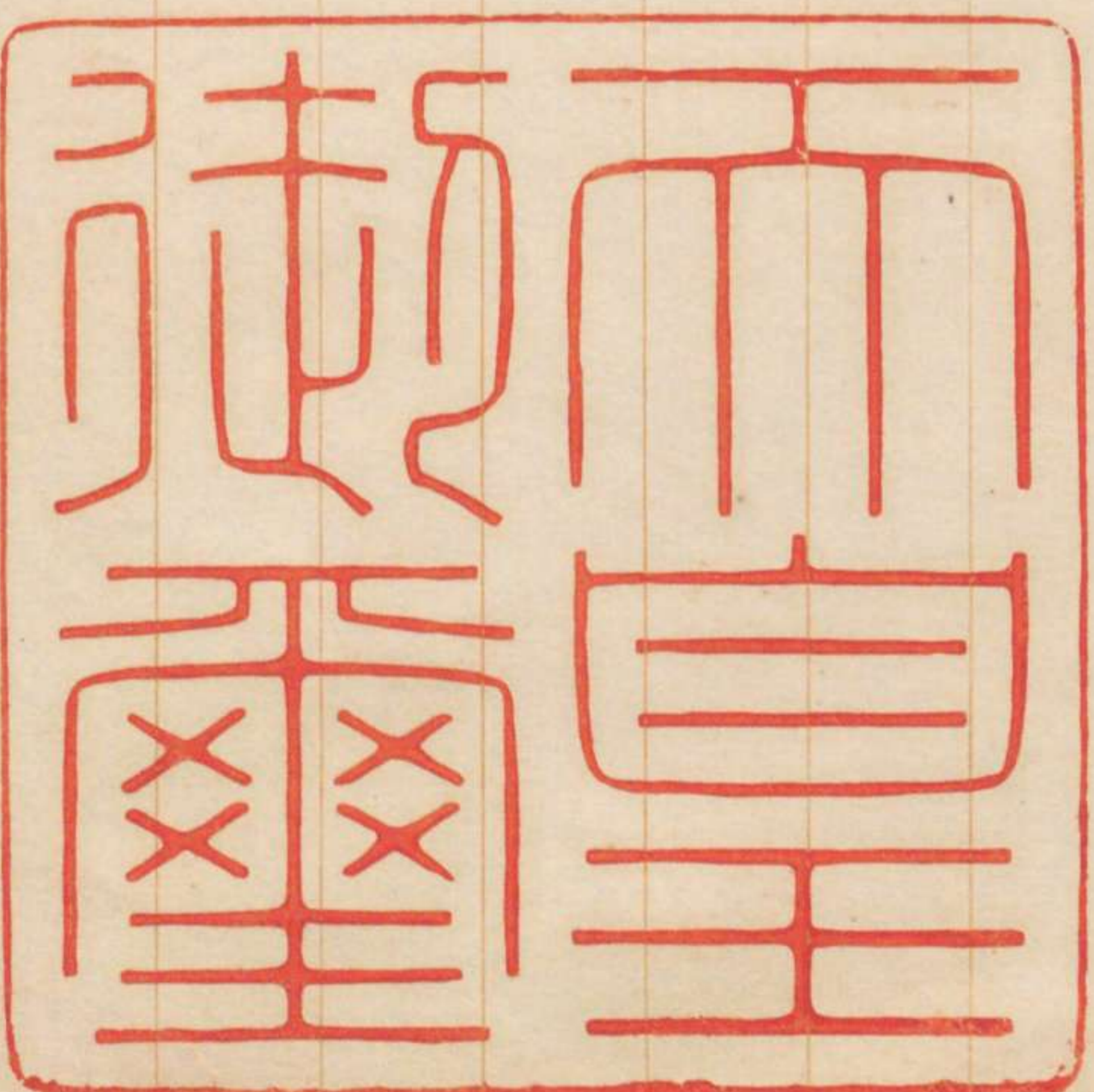
勅令第二百四十七号



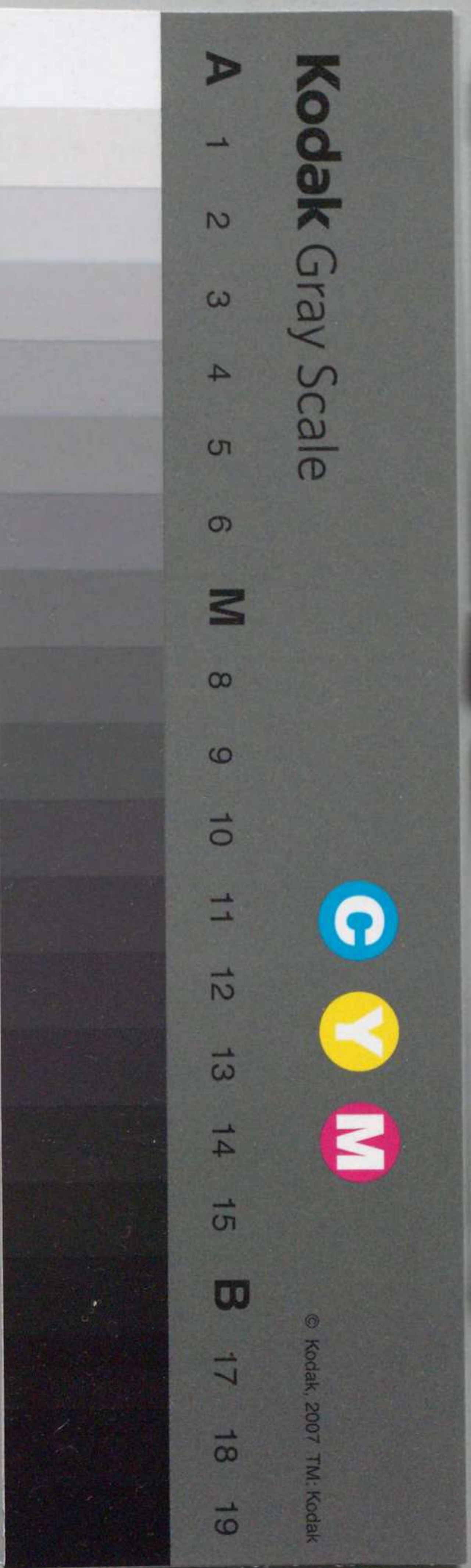


朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ海軍召集條  
例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治三十一年十月六日





海軍大臣侯爵西郷從道

勅令第二百四十七號  
海軍召集條例

第一章 總則

第一條 本條例ハ豫備役後備役ニ在ル  
海軍軍人ノ召集ニ關スルコトヲ規定  
ス

第二條 准士官以上ノ召集ハ海軍大臣  
之ヲ行ヒ下士卒ノ召集ハ鎮守府司令  
長官之ヲ行フ

第三條 戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權アル諸



官時機切迫シ命ヲ請フノ暇ナキトキ  
ハ獨斷ニテ豫備役後備役下士卒ノ召  
集ヲ行フコトヲ得

第四條 鎮守府司令長官ハ部下將校ヲ  
シテ定期若ハ臨時ニ諸官衙及公署ニ  
於ケル召集事務ノ整否ヲ検査セシム  
ヘシ

地方長官警視總監憲兵司令官憲兵隊  
長ハ其ノ所部召集事務ノ整否ヲ検査  
シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ検査セシ

ムヘシ

第五條 召集ニ關スル細則及旅費支給  
ノ方法ハ海軍大臣之ヲ定ム

第六條 召集ハ充負召集演習召集及簡  
閱點呼ノ三種トス

第七條 充負召集トハ戰時若ハ事變ニ  
際シ充負ヲ行フ為豫備役後備役軍人  
ノ一部又ハ全部ヲ召集スルヲ謂フ  
充負召集事務ニ關シ責任ヲ有スル者  
ハ豫メ之ニ關スル諸行務ヲ整備シ置



キ召集實施ニ際シ凝滞ナキヲ期スヘシ

充負召集發令ノ後ハ召集事務ニ關シ訓示命令等ヲ請フコトヲ得ス

第八條 演習召集トハ演習ヲ行フ為平時ニ於テ豫備役後備役軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第九條 演習召集ヲ大演習召集及小演習召集ノ二種ニ分ツ

大演習召集トハ大演習施行ノ際豫備

役後備役軍人ノ全部若ハ一部ヲ召集スルヲ謂ヒ小演習召集トハ小演習施行ノ際豫備役後備役下士卒ノ全部若ハ一部ヲ召集スルヲ謂フ

第十條 簡閲點呼トハ豫備役後備役下士卒ヲ實査スル為時期ヲ定メ其ノ全部若ハ一部ヲ召集スルヲ謂フ

第十一條 充負及演習召集ニ應シ到著スヘキ場所ハ豫備役後備役准士官以上ニ在テハ海軍大臣之ヲ定メ豫備役



後備役下士卒ニ在テハ其ノ兵籍ヲ管スル海兵團トス

第十二條 簡閱點呼ヲ行フ場所ハ簡閱點呼執行官之ヲ定ム

第十三條 充負召集及演習召集ニハ召集令狀ヲ發シ簡閱點呼ニハ點呼令狀ヲ發ス

第十四條 召集令ハ迅速確實ナル方法ヲ以テ通達スヘシ

第十五條 豫備役後備役下士卒ノ一部

ヲ召集スルトキハ鎮守府司令長官ハ何年何月以後ニ現役ヲ離レタル者ヲ召集スヘキコトヲ定ム

第十六條 豫備役後備役下士卒ノ召集區域ハ海軍志願兵徵募區ノ區域ニ依ル

## 第二章 召集準備

第十七條 召集ノ實施ヲ容易ナラシムル為豫備役後備役准士官以上ノ召集名簿ハ海軍省ニ於テ下士卒ノ召集名



薄ハ其ノ兵籍ヲ管スル海兵團ニ於テ  
整備シ置クヘシ

第十八條 准士官以上ノ召集令状ハ海  
軍省ニ於テ調製保管シ下士卒ノ召集  
令状ハ海兵團ニ於テ調製シ豫メ之ヲ  
郡市長ニ送付シ郡市長ハ召集ノ發令  
アルマテ之ヲ保管スヘシ但シ郡長ハ  
町村長ヲシテ召集令状ヲ保管セシム  
ルコトヲ得

第十九條 海兵團ニ於テハ旅費證票ヲ

作り召集令状ト共ニ郡市長ニ送付シ  
置クヘシ但シ郡長ハ町村長ヲシテ之  
ヲ保管セシムルコトヲ得

第二十條 地方長官ハ市町村長ヲシテ  
召集ニ應スル者ノ休泊ニ充ツル為豫  
メ市町村内ニ於テ海軍軍用旅舎ヲ選  
定セシメ之ヲ憲兵隊及警察署ニ通知  
シ置クヘシ

第二十一條 地方長官ハ前條ノ外召集  
ヲ容易ナラシムル為相當ノ措置ヲ為



スヘキモノトス

第二十二條 豫備役後備役軍人ハ其ノ  
本籍地ニ於テ召集ニ應スルヲ例トス  
但シ本邦ニ在テハ寄留地ニ於テ外國  
在留ノ者ニ在テハ其ノ所在地ニ於テ  
海員タル者ニ在テハ本人ノ屬スル船  
船ノ船籍港若ハ平常運航ノ一港ニ於  
テ召集ニ應スルコトヲ得  
前項但書ニ依リ召集ニ應セントスル  
者ハ市町村長ヲ經テ准士官以上ニ在

テハ海軍大臣ニ下士卒ニ在テハ其ノ  
兵籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ但  
シ外國在留ノ者ハ本文ノ手續ヲ為ス  
ト同時ニ在留國ノ領事官貿易事務官  
ヲ經テ准士官以上ニ在テハ海軍大臣  
ニ下士卒ニ在テハ其ノ兵籍ヲ管スル  
海兵團長ニ届出ヘシ

第二十三條 豫備役後備役軍人十四日  
以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ  
召集通報人ヲ定メ市町村長ヲ經テ准



士官以上ニ在テハ海軍大臣ニ下士卒  
ニ在テハ其ノ兵籍ヲ管スル海兵團長  
ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以  
内ニ市町村長ヲ經テ准士官以上ニ在  
テハ海軍大臣ニ下士卒ニ在テハ海兵  
團長ニ届出ヘシ但シ外國へ航海又ハ  
在留セントスルトキハ其ノ事由ヲ記  
シ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ准士官  
以上ニ在テハ海軍大臣ニ下士卒ニ在  
テハ海兵團長ニ届出ヘシ其ノ歸朝シ

タルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ  
經テ准士官以上ニ在テハ海軍大臣ニ  
下士卒ニ在テハ海兵團長ニ届出ヘシ

### 第三章 充負召集

第二十四條 海軍大臣及鎮守府司令長  
官ハ充負召集ノ令アリタルトキハ速  
ニ之ヲ其ノ部下ニ達シ鎮守府司令長  
官ハ同時ニ地方長官警視總監憲兵隊  
長諫諍府以下之ニ憲兵ニ通知シ必要  
アルトキハ關係アル領事官貿易事務



官ニ通知スヘシ

第二十五條 前條ノ通知アリタルトキ  
ハ地方長官ハ之ヲ郡市町村長並召集  
事務ニ關係アル官吏ニ警視總監憲兵  
隊長ハ之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ

第二十六條 召集令状保管者充負召集  
ノ令ヲ受クルトキハ令状ニ所要ノ記  
入ヲ為シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ之ヲ  
被召集人又ハ召集通報人ニ交付シ受  
領證ヲ徴スヘシ下士卒ノ召集令状ニ

對スル受領證ハ取纏メ之ヲ海兵團長  
ニ送付スヘシ

召集通報人ナキ不在者ニ在テハ其ノ

戸主本家族中家主ハ戸擔當スル者ヨリ

受領證ヲ出スヘシ

下士卒ノ召集令状保管者ハ前二項ニ  
依リ召集令状ヲ交付シタル者ノ人名  
並事故アリテ之ヲ交付シ得サルトキ  
ハ其ノ人名其事由ヲ速ニ憲兵及警  
察官吏ニ通知スヘシ



第二十七條 充員召集令ノ達ヲ受ケタ  
ル官衙竝公署ハ直ニ軍事警報ヲ揭示  
スルモノトス但シ鎮守府司令長官ハ  
海軍大臣ノ命ニ之ヲ揭示セシメサル  
コトヲ得

第二十八條 被召集人ニ代リ召集令状  
ヲ受領シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ本人  
ニ通報シ其ノ令状ヲ本人ニ交付スル  
ノ手續ヲ為スヘシ

第二十九條 准士官以上召集令状ヲ受

領シタルトキハ旅費ヲ受領シ速ニ指  
定ノ場所ニ到着スヘシ  
前項准士官以上ノ官姓名ハ豫メ海軍  
省ヨリ到着地ノ長官ニ通知シ長官ハ  
其ノ到着ノ都度最モ迅速確實ナル方  
法ニ依リ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ  
第三十條 下士卒召集令状ヲ受領シタ  
ルトキハ旅費及旅費證票ヲ受領シ其  
ノ令状ニ指定シタル期日ニ於テ海兵  
團ニ到着スヘシ



第三十一條 憲兵及警察官吏第二十六  
條第三項ノ通知ヲ受クルトキハ其ノ  
被召集人ヲシテ所命ノ期日ニ召集ニ  
應セシムルノ處置ヲ為スヘシ

第三十二條 召集地ニ到ルノ途中ニ於  
テ已ムヲ得サル事故ノ為到着ヲ遅延  
スル場合ニ在テハ其ノ事故傷痍疾病  
ナルトキハ醫師ノ診断書ヲ其ノ他ノ  
事故ナルトキハ其ノ事故ノ生シタル  
地ノ市町村長警察官吏船長若ハ驛長

ニ就キ證明書ヲ受領シ到着ノ上准士  
官以上ニ在テハ到着地ノ長官ヲ經テ  
海軍大臣ニ下士率ニ在テハ海兵團長  
ニ差出スヘシ

前項ノ事故ヲ生シタルトキ准士官以  
上ニ在テハ迅速ナル方法ニ依リ其ノ  
事故及豫定延滞日數ヲ到着地ノ長官  
ニ届出テ該長官ハ之ヲ海軍大臣ニ報告  
スヘシ但シ東京ニ到着スヘキトキハ  
直接ニ海軍大臣ニ届出ヘシ



第三十三條 召集令状ノ交付ヲ受クル  
モ已ムヲ得サル事故ノ為速ニ出發シ  
難キカ或ハ豫定期日迄ニ指定ノ場所  
ニ到着スルコト能ハサル場合ニ在テ  
ハ其ノ事故傷痍疾病ナルトキハ醫師  
ノ診断書ヲ添へ本人ヨリ旅行犯罪失  
踪等ナルトキハ召集令状ヲ受領シ夕  
ル者ヨリ事由届書准海士官以上ニ在テ  
海士卒ニ在テハヲ二十四時間以内ニ  
市町村長ニ差出スヘシ

市町村長 書ヲ受領スルトキ  
ハ准士官ニ付テハ本人ノ  
到着スヘ 官ヲ經テ海軍大臣  
ニ下士卒ノ書ニ付テハ海兵團長ニ  
進達スヘシ  
第一項ニ依リ 書ヲ差出シタル場合  
ニ於テ下士卒 召集令状ハ之ヲ郡市  
長若ハ町村長ニ返付スヘシ  
第三十四條 前條第一項ニ依リ事由届  
書ヲ差出シタル場合ニ於テ其ノ事故





第三十三條 召集令状ノ交付ヲ受クル

モ已ムヲ得サル事故ノ為速ニ出發シ

難キカ或ハ豫定期日迄ニ指定ノ場所

ニ到着スルコト能ハサル場合ニ在テ

ハ其ノ事故傷疾疾病ナルトキハ醫師

ノ診断書ヲ添本人ヨリ旅行犯罪失

踪等ナルトキ召集令状ヲ受領シ夕

ル者ヨリ准士官以上ニ在テ

海士率ニ二十四時間以内ニ

市町村長海兵團長ヘシ



市町村長前項ノ届書ヲ受領スルトキ

ハ准士官以上ノモノニ付テハ本人ノ

到着スヘキ地ノ長官ヲ經テ海軍大臣

ニ下士率ノモノニ付テハ海兵團長ニ

進達スヘシ

第一項ニ依リ届書ヲ差出シタル場合

ニ於テ下士率ノ召集令状ハ之ヲ郡市

長若ハ町村長ニ返付スヘシ

第三十四條 前條第一項ニ依リ事由届

書ヲ差出シタル場合ニ於テ其ノ事故

明



止ミタルトキハ准士官以上ニ在テハ  
速ニ海軍省ニ届出テ命ヲ待テ下士卒  
ニ在テハ速ニ郡市長若ハ町村長ヨリ  
召集令状ヲ受取リ其ノ指示ニ從フヘ  
シ

第三十五條 召集シタル下士卒ハ海兵  
團ニ於テ身體検査ヲ行フ身體検査ニ  
於テ服役ニ堪ヘスト認ムルトキハ召  
集ヲ解キ旅費ヲ給シテ歸郷セシム  
第三十六條 召集ノ期ニ後ルル者アル

トキハ下士卒ニ在テハ海兵團長准士  
官以上ニ在テハ到着地ノ長官事實ヲ  
糺シ相當ノ措置ヲ為スヘシ

第三十七條 下士卒ノ召集完結スルト  
キハ海兵團長ハ之ヲ鎮守府司令長官  
ニ報告シ鎮守府司令長官ハ其ノ報告  
ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

第三十八條 正當ノ事由ナクシテ第二  
十三條ノ規定ニ背ク者ハ五錢以上一  
圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス



正當ノ事由ナクシテ第二十八條ノ規定ニ背ク者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

正當ノ事由ナクシテ第三十三條及第三十四條ノ規定ニ背ク者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第三十九條 召集解除ノ令アリタルトキハ海軍大臣及鎮守府司令長官ハ速ニ之ヲ其ノ部下ニ達シ鎮守府司令長

官ハ同時ニ地方長官警視總監憲兵隊長ニ通知シ旅費ヲ給シ被召集人ヲ歸郷セシム

第四十條 召集解除ノ行務完結スルトキハ海兵團長ハ之ヲ鎮守府司令長官ニ報告シ鎮守府司令長官ハ其ノ報告ヲ海軍大臣ニ進達スヘシ

第四十一條 召集ノ諸行務ニ関シ責任ヲ有スル諸員ハ召集解除後速ニ復タ召集ノ準備ヲ為スヘシ



第四章 演習召集

第四十二條 海軍大臣及鎮守府司令長官ハ大演習召集ノ令アリタルトキハ之ヲ其ノ部下ニ達シ鎮守府司令長官ハ同時ニ地方長官警視總監憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十三條 鎮守府司令長官小演習召集ヲ行ハントスルトキハ海軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四十四條 鎮守府司令長官小演習召集

集ヲ行フトキハ之ヲ其ノ部下ニ達シ同時ニ召集區域内地方長官警視總監憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十五條 大演習若ハ小演習召集ノ通知アリタルトキハ地方長官ハ之ヲ郡市町村長竝召集事務ニ關係アル官吏ニ警視總監憲兵隊長ハ之ヲ其ノ部下ニ達スヘシ

第四十六條 演習召集ニハ第二十六條第二十八條乃至第三十三條及第三十



五條乃至第四十一條ヲ準用ス

第四十七條 第三十三條第一項ニ準シ  
事由届書ヲ差出シタル場合ニ於テ其  
ノ事故止ミタルトキハ准士官以上ニ  
在テハ速ニ海軍省ニ届出テ命ヲ待チ  
下士卒ニ在テハ速ニ郡市長若ハ町村  
長ヨリ召集令状ヲ受取り其ノ指示ニ  
従ヒ旅費及旅費證票ヲ受取り直ニ海  
兵團ニ到着スヘシ但シ演習ノ前半期  
間ニ召集地ニ到着スル能ハサル者ト

認ムルトキハ郡市長若ハ町村長ハ其  
ノ發程ヲ差留メ之ヲ海兵團長ニ通知  
スヘシ

第四十八條 演習召集令状ノ交付ヲ受  
ケタル者其ノ父母重症ニ罹リ若ハ死  
亡シタルトキハ親戚又ハ近隣戸主ニ  
人以上連署ノ願書ニ市町村長ノ奥書  
證印ヲ受ケ醫師ノ診断書若ハ死亡證  
ヲ添ヘ准士官以上ニ在テハ到着スヘ  
キ地ノ長官ヲ經テ海軍大臣ニ下士卒



ニ在テハ海兵團長ニ十四日以内ノ延期ヲ願出ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ海軍大臣、海兵團長ハ審査ノ上其ノ願ヲ許可スルコトヲ得

第四十九條 正當ノ事由ナクシテ第四十七條ノ規定ニ背ク者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第五章 簡閱點呼

第五十條 鎮守府司令長官ハ簡閱點呼ノ為毎年一回豫備役後備役下士卒ヲ召集シ簡閱點呼執行官ヲ派出シ期日ヲ定メテ點呼ヲ行ハシム但シ他ノ召集ヲ行ヒタル年ハ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 鎮守府司令長官ハ部下將校若干名ニ簡閱點呼執行官ヲ命シ之ニ必要ノ訓令ヲ授クヘシ又必要アルトキハ簡閱點呼執行官ニ部下主計官



ヲ附スルコトヲ得

第五十二條 各簡閲點呼執行官ニハ下士若干名ヲ附屬セシム

第五十三條 鎮守府司令長官簡閲點呼ヲ行ハントスルトキハ簡閲點呼執行官ノ巡廻區及出發期日ヲ定メ之ヲ海兵團長ニ達シ同時ニ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第五十四條 海兵團長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ簡閲點呼執行官ト協議シ

豫定順路ヲ定メテ之ヲ關係地方長官ニ通知スヘシ

第五十五條 地方長官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ達シ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市町村長ハ之ヲ豫備役後備役下士卒ニ豫告スヘシ

第五十六條 簡閲點呼召集所ハ地方廳管轄區域ノ廣狹及被點呼者ノ多少ニ依リ簡閲點呼執行官之ヲ定ムルモノトス



點呼令状ハ海兵團ニ於テ調製シ前項  
ニ依リ簡閱點呼召集所定マリタルト  
キハ海兵團長ヨリ之ヲ郡市長ニ送付  
スヘシ

第五十七條 簡閱點呼執行官ハ巡廻日  
割ヲ定メ郡市長ニ通知スヘシ  
郡市長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ  
點呼令状ニ所要ノ記入ヲ為シ直ニ豫  
定ノ方法ヲ以テ之ヲ被點呼者又ハ召  
集通報人ニ交付シ受領證ヲ徴スヘシ

召集通報人ナキ不在者ニ在テハ戸主  
本家 戸主 又ハ 家主 不在 ル者ヨリ受領  
證ヲ出スヘシ

郡市長ハ事故アリテ點呼令状ヲ交付  
シ得サルトキハ其ノ人名其 事由ヲ  
速ニ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第五十八條 被點呼者ニ代リ點呼令状  
ヲ受領シタル者ハ直ニ其ノ旨ヲ本人  
ニ通報シ其ノ令状ヲ本人ニ交付スル  
ノ手續ヲ為スヘシ



第五十九條 被點呼者ハ指定ノ日時迄

ニ召集所ニ到着シ點呼ヲ受クヘシ

第六十條 被點呼者ノ往復旅費ハ解散

ヲ命スルトキ簡閱點呼執行官若ハ簡

閱點呼執行官附主計官ヨリ給スルモ

ノトス

第六十一條 憲兵及警察官吏第五十七

條第四項ノ通知ヲ受クルトキハ其ノ

被點呼者ヲシテ所命ノ日時ニ參會セ

シムルノ處置ヲ為スヘシ

第六十二條 郡市長並町村長ハ簡閱點

呼ニ參列スヘシ

第六十三條 被點呼者傷痍疾病其ノ他

ノ事故ニ依リ簡閱點呼ニ參會スルコ

ト能ハサルトキハ市町村長ヲ經テ事

由届書ヲ點呼執行日時ニ簡閱點呼執

行官ニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ノ者

ニ在テハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ

第六十四條 被點呼者集合スルトキハ

簡閱點呼執行官ハ點呼名簿ノ順序ニ



從ヒ點呼シ所要ノ調査ヲ行ヒ必要ノ  
訓示ヲ與ヘ解散ヲ命スヘシ

第六十五條 正當ノ事由ナクシテ簡閱  
點呼ニ參會セサル者及第六十三條ノ  
規定ニ背ク者ハ五十錢以上一圓九十  
五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上  
十日以下ノ拘留ニ處ス

第六十六條 正當ノ事由ナクシテ第五  
十八條ノ規定ニ背ク者ハ一日以上十  
日以下ノ拘留ニ處ス被點呼者簡閱點

呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ノ命令ニ  
服セス又ハ其ノ職務ノ執行ヲ妨害ス  
ルトキ亦同シ

第六十七條 簡閱點呼執行官簡閱點呼  
ヲ終ルトキハ點呼實況報告書及點呼  
人負表各二通ヲ鎮守府司令長官ニ差  
出スヘシ

第六十八條 鎮守府司令長官ハ前條ノ  
書類ヲ取纏メ一通ヲ海軍大臣ニ進達  
シ一通ヲ海兵團長ニ下付スヘシ



附則

第六十九條 本條例中郡市長ノ職務ハ  
島司支廳長若ハ之ニ準スヘキ者並東  
京市京都市大阪市及市制町村制ヲ施  
行セサル地方ノ區ニ在テハ區長之ヲ  
行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セ  
サル地方ニ在テハ戸長及之ニ準スヘ  
キ者之ヲ行フ